

グローバル化支援インターンシップⅡ:実習  
Globalization Support Internship II : Practicum  
Fall 2018 シラバス (Syllabus)

**[ Japanese Level: Intermediate ~ Advanced – Level 3~5 ]**

担当教員 (Lecturer): 恒松直美 (Dr. Naomi Tsunematsu)

恒松研究室 (Office): 教育学部 K302 (Education K302)

TEL: 082 424 6279 Email: ntsunema@hiroshima-u.ac.jp

時限 (Class Time): 金曜日 Friday 7&8 (14:35-16:05) 教室 (Classroom): 教育 K308

教授言語 (Instruction Language): 日本語 単位数: 2 単位 (2 Credits)

**重要事項 (Important Notice)**

\*「グローバル化支援インターンシップⅠ: キャリア理論と実践」を同時に受講していること。

Students are required to take “Globalization Support Internship I: Career Theory & Practice” simultaneously.

\*「学生主導型のプロジェクト型インターンシップ」である。積極的に地域社会と連携した「グローバル化支援プロジェクト」を多国籍の留学生が協力して企画・実行を行うものである。多国籍の留学生が参加することを奨励する。This is a student-centered project type internship. Culturally diverse international students are expected to cooperate with local society in Japan and carry out the project. Participation of students from various cultures is encouraged.

**受講条件 (Requirements)**

- レベル4または5(日本語上級)またはレベル3(日本語中級)の HUSA 留学生。  
HUSA Students who are taking this course are required to have acquired “Advanced level (level 4 or 5)” or “Intermediate level (Level 3)” of Japanese language proficiency”
- 「HUSA インターンシップⅠ: キャリア理論と実践」(インターン派遣のための事前研修)を秋学期に同時に受講していること。Students are required to have registered for the ‘HUSA Internship I: Career Theory and Practice’ offered in fall semester.
- 1) 「インターンシップ・プレースメントテスト」・2) 「面接試験 I&II」を必ず受けてください (現時点でのレベルを確認するため)。テストは 1 回目の授業で行う。You are required to take 1) Internship Placement Test, and 2) Interview Test (The purpose is to check where you stand at this point) conducted in the 1st Week.
- 「インターン」受講者としての試験結果は、試験後 3 日以内に、恒松研究室(教育 K302)のドアに掲示する。Test result will be posted on the office door of the lecturer.
- 詳細なシラバスは第一回の授業で配布する。The detailed syllabus will be distributed in the 1st week of the course.

### <重要なお知らせ Important Notice>

- 基本として、上級の日本語能力を必要とします。ただし、日本語中級でも学生の強い要望がある場合は、テスト結果に基づき判定します。
- 多国籍の留学生の参加によるプロジェクト企画を目指します。Participation of culturally diverse students will enhance the value of the project.

#### \* **Important:** 重要

There are different assignments for 日本語レベルにより異なる課題を課す

- 1) Students whose Japanese Level is Advanced
- 2) Students whose Japanese Level is Intermediate

e.g. Midterm Exam, Final Exam, Telephone Test 中間テスト・期末テスト・電話対応テスト

\*\*市役所・企業等への交通費がかかる場合がある。交通費は自己負担とする。

\*\* **本実習の履修者はスーツを用意すること。**実習はスーツまたはできるだけフォーマルな服装で参加すること。(近年ネット等でかなり安価なスーツを購入することが可能。)

### 授業登録 (Registration for the Course)

- ◆ 「インターンシップ・プレースメントテスト」受験後、受講が決定した学生は、必ず授業登録をしてください(2単位)。Please register for the course AFTER you took the 'Internship Placement Test' and get approval for registration.
- ◆ 「特別研究生」は授業登録ができません。担当教員に相談してください。Please consult the lecturer if you are a 'Special Research Student' and wish to participate in this course.

### 授業概要 (Course Outline)

- \*本授業は主に以下で構成される。本インターンシップは、「プロジェクト型インターンシップ」である。地域社会と連携・協力し、地域活性化及び地域社会のグローバル化対応支援に挑戦する国際的体験学習である。実践的な力をつけることを目的とする。

HUSA インターンは、以下の2つの企画に挑戦する。

#### ① 「地域国際化セミナー」(全学・地域公開)でのプレゼンテーションによる交渉

- \* 「倉橋フェスティバル」(呉市倉橋町で2月17日に開催)への参加における「地域国際化プロジェクト」を提示し、インターンのプロジェクトのためのテント設営について呉市役所関係者・地域団体に提示

#### ② 呉市倉橋町で2月に開催される「倉橋フェスティバル」におけるステージ参加とテント活動

2019年2月17日(日)に呉市倉橋町で開催される「倉橋フェスティバル」において以下を行う。

- 1) ステージ参加(10~20分)
  - 2) 倉橋ボランティアガイドの会に隣接する設営テント(仮)において地域活性化・国際交流に関する催し担当
- ◆ 倉橋フェスティバルには約12,000人が訪問するとされている。また、ステージ周辺には約

500 人が観客として集まる。

- ◆ HUSA インターンは、多文化共生の地域づくりを念頭においた社会体験を持てるよう、ステージ内容と設営テントでの催しの内容を検討する。

### 達成目標と学習成果(Course Objective and Learning Outcome)

① ② を体験することにより以下を達成する。

#### 1)日本語能力・日本社会の理論的理解を実践に生かす

- 上級レベルの日本語能力を習得し、多様な文化的背景を持つ交換留学生インターンが、留学生の知見と日本語能力を日本の実社会で生かす。
- 地域の人々と協働で企画・立案・実行する実習により、日本の地域社会において、外国人住民が地方自治体・地域学校・地域社会とつながり、多文化共生を実現する方策について考える場を持つ。
- 地域社会・地域学校・地域住民と協働し、異文化理解力の向上や異文化コミュニケーション力の育成について、実習を通じて考察する。
- 「グローバル化支援インターンシップ: キャリア理論と実践」 (“Globalization Support Internship I: Career Theory and Practice”)を通じて得た知識を実践で生かし、官公庁・教育機関・地域社会の人々と仕事をし、学術知と実践知を融合した実践的学びを目指す。
- 社会人と接し、日本語・日本社会・グローバル社会・キャリアについての理論的理解を実践と結びつけ、大学教育と将来のキャリアとを関連付ける。

#### 2) 文化多様性を背景に持つ多国籍の HUSA インターンがチームワークとリーダーシップを発揮し地域社会においてプロジェクトを企画・実践する力をつける

- 学生が主体となり地域再生・地域活性化に貢献するアクティブ・ラーニングを体験する。
- 責任ある「仕事」を行うための企画・立案・準備・実行の全過程を体験する。
- 異なる文化を背景に持つ留学生インターンが、リーダーシップを発揮し、チームで協力して企画を実行する体験を持つ。
- 地方行政関係者や地域団体との企画検討会議に参加し、自分の考えを伝え、企画を推進する体験を持つ。
- インターンシップの体験を日本と世界を視野に入れたキャリア構築に生かす。

### 「グローバル化支援プロジェクト」企画・実行における評価項目

#### (1)「グローバル化支援プロジェクト」 会議・議事録作成 ‘Globalization Support Project’ Meeting Minutes)

- ◆ 「グローバル化支援プロジェクト」企画のために参加した会議の議事録を作成する。

Students are expected to make a **minutes** of the meeting(s) of the projects.

- ◆ 議事録のサンプルは教員より配布する。

The sample of the minutes will be distributed by the lecturer for your reference.

(2) 地方行政関係者・地域団体との会議における礼儀・対応

- ◆ 企画会議参加・訪問時の対応
- ◆ 会議における積極的な提案や態度

(3) プロジェクト実行における活躍・責任感ある態度

- ◆ リーダーシップ発揮・リーダーへの支援・多国籍チームで皆と協力する力
- ◆ 日本社会における行動様式を理解し地域の人々と積極的に関わる態度
- ◆ 積極的な参画によるプロジェクトへの貢献・平等な作業分配への貢献
- ◆ クリエイティブな仕事の創出・アイデアの提示

(4) 実習の自己評価における省察

- ◆ 実習内容についての自己評価を2月に実施する。自身を客観的かつ多角的に見つめ、改善に向けて思案しているかどうかを審査する。

(5) 仕事に関する官公庁・企業等からの評価

- ◆ セミナーにおけるプレゼンテーション・礼儀・実習等について社会人が評価する。

(6) プロジェクト・マネージメント

- ◆ スケジュール・仕事内容・役割分担(第1案&改定案の提示)

Project management (Schedule, Project content, Role divisions) 1<sup>st</sup> Draft & Revised Draft

\*以下の(7)(8)(9)については、日本語上級と中級とで異なる課題を課す。

There are different assignments for Advanced or Intermediate Level of Japanese.

**A. 日本語上級 (Japanese: Advanced Level)**

(7) 電話対応小テスト (Test on Business Phone Conversation)

講義内容の復習として電話対応の小テストを行う。

Phone conversation test will be conducted to check students' acquisition of skills.

(8) 中間テスト (Midterm Examination)

講義内容及び配付資料についてテストする。

Midterm examination will be held to test the understanding of the lecture content.

(9) 期末テスト (Final Examination)

講義内容及び配付資料についてテストする(名刺作成、電話対応、電子メールの書き方、仕事での儀礼・マナーなど)。The final examination will cover the lectures and distributed materials (making business card, telephone conversation, writing email, courtesy and manners in work settings).

**B. 日本語中級 (Japanese: Intermediate Level)**

日本語中級者は、(7)(8)(9)の代替として「小論文」を課す。詳細は、別途知らせる。

For students whose Japanese is intermediate level, a short essay is assigned to

substitute for (6)(7)(8). The detailed will be notified later.

### **全体評価 (Assessment)**

(1) 地方行政関係者との会議議事録の作成	10%
(2) 地方行政関係者との会議における礼儀・対応	10%
(3) プロジェクト実行における活躍・責任感ある態度	30%
(4) 自己評価における省察	5%
(5) 仕事に関する官公庁・企業等からの評価	5%
(6) 東広島市議会傍聴レポート	5%
(7) 電話対応小テスト	10%
(8) 中間テスト	10%
(9) 期末テスト	15%
<hr/>	
TOTAL	100%

- 官公庁等による評価は、担当教員に報告される。

The evaluation report on the student's work performance by the city office officials will be reported to the lecturer after the practicum.